

■ 災害時の復旧活動を支援

- ・ 狭隘なトンネルが多い国道127号と異なり、高規格な富津館山道路は、災害派遣用の大型車でも確実に通行できるため、災害復旧に必要な隊員の派遣や物資輸送が迅速に行える
- ・ 令和元年台風15号の際は、延べ900人以上の自衛隊員による被災地域での活動や、被災住民への支援物資輸送に貢献

令和元年台風15号災害時の
駐屯地からの支援ルート



【資料】館山市資料、陸上自衛隊ヒアリング結果

車両通行の特徴

陸上自衛隊が隊員や物資輸送に利用する大型車は、狭隘トンネルの通行がしづらい。走行性に優れる富津館山道路は、災害派遣の円滑化に寄与している。

写真①
国道127号
城山隧道



(2024年4月撮影)
狭隘トンネルを通過する大型車

令和元年台風15号による被害状況 自衛隊の安房地域での活動実績

被害状況

写真② 館山市上空



ブルーシートの
展張支援



給水支援



台風の猛威により、安房地域をはじめ、県内各所で家屋の屋根が吹き飛ばされた。派遣された自衛隊により、吹き飛ばされた屋根を覆うためのブルーシート展張支援、給水支援、入浴支援、伐採作業、ガレキ除去等が行われた。

【資料】防衛省プレスリリース[R1. 10. 7]、陸上自衛隊東部方面隊SNS

館山市に災害派遣された陸上自衛隊員数*

大宮駐屯地(埼玉県、第32普通科連隊)	707名
習志野駐屯地(千葉県、第1空挺団)	135名
北富士駐屯地(山梨県、第1特科連隊)	70名
古河駐屯地(栃木県、第一施設部隊)	20名

※関東周辺の駐屯地を対象
【資料】館山市資料

延べ合計
932名が
富津館山道路を
利用し館山市へ

隊員・物資を輸送する際の主力である73式大型トラック(全長約7m、全幅約2.5m、全高約3m)が一般道路を通過する際は、道幅や交通状況により機動の発揮に制限を受ける場合があります。令和元年の台風15号で被災した際は、通行困難な道路を回避し、通行可能な富津館山道路を通り、迅速に目的地まで移動でき被災地支援ができました。



自衛隊の声

ヒアリング結果(2023年10月)